

I 2015年版 茨城県の結核統計年報のポイント

- 新登録結核患者数345人、罹患率（人口10万対）11.8は、昨年に比べていづれも減少しているが、県の目標値（罹患率11.0以下）におよばない。
全国では、18,280人、罹患率（人口10万対）14.4
 - ・ 昨2014年県は、387人、罹患率（人口10万対）13.3
全国では、19,615人、罹患率（人口10万対）15.4

- 高齢者の罹患率が高く、新登録結核患者の内60歳以上の占める割合が68.7%である。また、60歳代の罹患率（人口10万対）9.2で、70歳以上は（人口10万対）36.2である。
全国60歳以上の占める割合は71.8%、60歳代の罹患率（人口10万対）13.1
 - ・ 昨2014年県は、67.2%（全国71.5%）

- 外国籍の結核患者が多く、新登録患者中に占める外国出生患者の割合が全国よりも高い。県7.5%（全国6.4%）
 - ・ 昨2014年県は、7.5%（全国5.6%）

- 潜在性結核感染症（LTBI）新登録患者数は昨年に比べて32人少ない。
県128人（人口10万対）4.4、全国6,675人（人口10万対）5.3
 - ・ 昨2014年県は、160人（人口10万対）5.5、全国7,562人（人口10万対）6.0

- 発病から初診までの期間が2ヶ月以上経過している割合は、昨年に比べて減少した。
県18.3%（全国20.0%）
 - ・ 昨2014年県は、23.9%（全国18.8%）

- 年末総登録結核患者中病状不明の割合は、全国よりも低く、昨年に比べて減少した。
県4.8%（全国20.0%）
 - ・ 昨2014年県は、19.9%（全国24.1%）

- 結核の治療状況に関しては、新登録80歳未満全結核中「PZAを含む4剤の処方」による割合が昨年とほぼ同じであり、全国を幾分上回っているため適正医療が浸透している。
県85.8%（全国84.9%）【化療無し・不明除く】
 - ・ 昨2014年県は、85.7%（全国83.8%）